

経済情勢  
(月例報告 9 月分)

2012年10月  
在コロンビア日本大使館

I 概要

- 2012年第2四半期のコロンビアの実質 GDP 成長率は前年同期比で+4.9%となり、前期の+4.7%から上昇した。
- 25日、NYで開催された国連総会に出席したサントス大統領と野田総理は、日・コロンビア EPA 交渉開始に合意した。

II 主な出来事

<国内情勢>

(1) 実質 GDP 成長率 (以下、成長率) : (20日、国家統計庁 (DANE) 発表)

2012年第2四半期のコロンビアの成長率は前年同期比で+4.9%となった。2011年通年の+5.9%からは減速がみられたものの、建設業が主なけん引役となり、前期の+4.7%から上昇した。産業別では、前期はマイナス成長を記録した建設業が、今期は+18.4%と大幅に上昇した。また、鉱業 (+8.5%) が前期に続き高い伸びを示した他、金融・保険・不動産・法人サービス (+5.1%) 及び、商業・修繕・レストラン・ホテル (+4.3%) も好調であった。しかしながら、製造業 (-0.6%) では、唯一のマイナス成長がみられた。

(2) 経済政策

(ア) 2013年予算

7月27日に提出された2013年予算案 (185.5兆ペソ) が、12日、国会を通過した。

(イ) 今期国会日程

19日、サントス大統領は、今期国会に提出する主な経済関連法案は、税制改革、年金改革、対 EU・FTA 及びデノミ (通貨単位の切り下げ) だと発表した。カルデナス財務大臣によれば、税制改革法案は10月初旬に提出される。

(3) インフラ

(ア) 200周年石油パイプライン (Oleoducto Bicentenario) (10日、当地紙報道)

2011年10月に完成予定であった200周年石油パイプラインの工事は、テロ攻撃、環境ライセンス及び長雨の問題により遅れが生じており、2013年第1四半期より稼働の見込み。輸送量は日量12.5万バレル。

(イ) 道路インフラ入札 (13日、当地紙報道)

18日、国家インフラ庁 (ANI) は、第4世代コンセッションプロジェクトを発表した。同コンセッション方式では、民間主導で道路建設を進め、建設費用は着工前ではなく、完成後、政府により一部が支払われる他、料金所の収益により賄われる。今回発表された総額

約 40 兆ペソ、総延長 6,000km の新規 30 件の道路建設は、民間の手に委ねられることになる。

(ウ) バランキージャ港 (18 日, 当地紙報道)

バランキージャ港湾公社は、同港を 24 時間利用可能な貿易港とし、DIAN (国税・関税庁)、ICA (コロンビア農業庁) 及び麻薬警察の職員を常駐させる新体制を確立した。今年中には、サンタマルタ港及びカルタヘナ港も 24 時間体制となる予定。

(エ) イトゥアング水力発電 (18 日, 当地紙報道)

EPM (メデジン開発公社) が発注していた、イトゥアング水力発電 (2,400 メガワット) の発電設備事業 (2 億 2,550 万ドル) をブラジル系 Alstom Brasil 社が落札した。本事業は、発電設備 (タービン、発電機及びその他関連機器) 調達の他、設計、設置、運転試験及び輸送が含まれ、工期は 127 ヶ月。

(オ) ボゴタ市メトロ建設プロジェクト関連 (22 日及び 29 日, 当地紙報道)

世銀はメトロ建設プロジェクトにおける、詳細設計調査費用 800 億ペソを融資する予定。調査はスペイン系の Euroestudios 社が行い、約 1 年半を要する見込み。その後、工事に関する公開入札が行われる。

#### (4) 企業動向

(ア) パナソニック (11 日, 当地紙報道)

パナソニック社は、ラ米で 3 番目の規模のコロンビア市場の、主に治安・警備、石油業者、公共サービス、運輸の 4 分野において、堅牢設計のタフブックやタフパッドの普及事業を開始すると発表した。

(イ) 日産 (15 日, 当地紙報道)

ロペス DINISSAN 社長は、電気自動車の日産リーフが、数ヶ月以内に当国でも販売される旨発表した。同 EV 車は、リチウムイオン電池を使用し、CO<sub>2</sub> を一切排出しない 100% 電気自動車である。

(ウ) BHP ビリントン (英・豪) 子会社セロ・マトソ社 (22 日, 当地紙報道)

コロンビア最大のセロ・マトソのフェロニッケル鉱山のコンセッション契約の延長に関して、レンフィフォ鉱山・エネルギー大臣は、21 日、1996 年に同省とセロ・マトソ社が交わした合意文書は合法であり、同社は 2029 年まで鉱山の採掘が可能であると発表した。

#### (5) その他

(ア) 国債発行 (15 日, 当地紙報道)

財務省公債局は、14 日、国際資本市場にて、1 兆ペソの 10 年物グローバル債 (2023 年償還、利回り 4.5%) を発行した。

(イ) ラテンアメリカ統合市場 (MILA) (25 日, 当地紙報道)

ボゴタ証券取引所 (BVC) は、コロンビア、ペルー、チリによる統合証券取引所である MILA に、メキシコ証券取引所が 2014 年上半期に加わると発表した。

(ウ) 「コロンビア・ラウンド 2012 (探鉱・開発入札)」 (28 日, 当地紙報道)

国家炭化水素庁 (ANH) は、115 の石油鉱区のデータパッケージを購入した企業のうち、

47 社が事前選考を通過した旨発表した。提出書類に不備があった 9 社を含めると、50 社以上が今般の入札に公式参加することとなる。

#### <対外関係>

##### (1) 対米 FTA 関連

ディアス・グラナドス商工観光相は、対米 FTA の発効から 100 日間で、工業製品の輸出が 20%増加したと発表した。また、最初の 4 ヶ月間では、自動車（前年同期比+74%）、菓子製造業（同+67%）、自動車部品（+152%）、建設資材（+63%）、魚切り身（+67%）が大きな伸びを示した。

##### (2) 対イスラエル FTA 関連

10~13 日の日程で、本年中の交渉終了を目指すコロンビア・イスラエル FTA の第 3 回交渉がエルサレムにて開催された。

##### (3) 対コスタリカ FTA 関連

24~28 日の日程で、コロンビア・コスタリカ FTA 交渉の第 2 回会合が、サンホセで開催された。早期に交渉を終了し、来年の同協定発効を目指す。

##### (4) 対アジア関係

###### (ア) 対日関係

(i) 日・コロンビア投資保護協定は、韓国、EU、及びベネズエラとの経済連携協定と共に、今期国会に提出される。

(ii) 20~23 日、コロンビア貿易振興庁 (PROEXPORT) 及びコロンビア旅行観光協会 (ANATO) の支援のもと、コロンビア企業が JATA 国際観光フォーラム（於：東京）に参加し、観光地としてのコロンビアの宣伝を行った。同フォーラムには 102 ヶ国が参加した。

(iii) 25 日、NY で開催された国連総会に出席したサントス大統領と野田総理は、日・コロンビア EPA 交渉開始に合意した。同大統領は、2013 年 1 月までには第 1 回目の交渉を行う予定だと述べた。

(iv) コロンビア・コーヒー連盟の日本事務所設立 50 周年記念のため訪日していたムニョス同連盟会長と、ドトールコーヒー社長は、日本全国のドトールショップ約 1,100 店舗で 10 月 1 日より「コロンビア・キンディオ」コーヒーの販売を開始すると発表した。

###### (イ) 対中関係

(i) コロンビアの Procafecol 社と、中国国内で食品のオンライン販売を手がける Yihaodian 社が、同社のポータルサイトを通じた Juan Valdez コーヒー販売の業務提携を結んだ。

(ii) 10 月 2 日、陳徳銘 (Chen Deming) 中国商務部部長がコロンビアを訪問し、ディアス・グラナドス商工観光相と会談を行う予定。また、同期間中に PROEXPORT 主催のビジネスフォーラムが開催される。

## <経済指標>

### (1) 経済活動全般

#### (ア) 実質工業生産指数 (DANE 発表)

7月の実質工業生産指数(コーヒー豆加工を除く)は前年同月比+1.5%であった。48項目のうち26項目で増加が見られた。

#### (イ) 実質小売売上高指数 (DANE 発表)

7月の実質小売売上高指数は前年同月比+1.3%であった。家庭用情報機器が同+7.5%の伸びを示した。

#### (ウ) 消費者信頼感指数 (Fedesarrollo 発表)

8月の消費者信頼感指数 (ICC) は 18.1%と前月 (23.2%) を 5.1%ポイント下回り、前年同月比でも、6.8%ポイント下回った。

### (2) 産業動向

#### (ア) 原油生産量 (鉱山・エネルギー省発表)

8月の原油生産量は日量 91.8 万バレルであり、前年同月比で 3.4%減少した。

#### (イ) コーヒー

##### (i) 生産 (コーヒー生産者連合会 (FNC) 発表)

FNC 加盟コーヒー生産者による 8月のコーヒー生産量は、56.5 万袋 (1 袋=60 kg) となり、前年同月比で+21%であった。

##### (ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

8月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均 1 ポンド=1.87 ドル (前月は同 2.03 ドル、前年同月は同 2.87 ドル) であった。

#### (ウ) 新車販売 (13 日、当地紙)

8月の新車販売台数は 25,662 台と、前年同月比で 9.9%減少した。また、1月から8月までの新車販売台数累計は 212,598 台と、前年同期比で-0.4%であった。

### (3) 物価・雇用 (DANE 発表)

#### (ア) 物価

8月の消費者物価上昇率は+3.11% (前年同月比、以下同) と、前月の+3.03%より僅かに上昇した。また、8月の生産者物価上昇率は+0.12%であった。

#### (イ) 雇用

8月の全国平均失業率は 9.7%と、前年同月の 10.1%から 0.4%ポイント改善した。8月の失業率では、11年ぶりに 1 桁台を記録した。一方、主要 13 都市の平均失業率は前年同月の 10.4%から 10.5%と僅かに悪化した。

### (4) 金融：為替介入

中銀は、28日の政策決定会合にて、10月1日~来年3月29日まで、ペソ高を抑制するために、30億ドル (1日最低2千万ドル) のドル買いを行うことを決定した。

(5) 貿易・投資

(ア) 貿易収支 (DANE 発表)

7月の貿易収支 (FOB) は、2.14 億ドルの赤字であり、1~7月の累計貿易黒字は27.31 億ドルとなった。輸出 (FOB) 全体では、前年同月比-4%の46.94 億ドル、輸入 (CIF) 全体では、前年同月比+13%の51.59 億ドルとなった。

(イ) 対内直接投資 FDI (中銀発表)

1~8月のFDI累計額は、石油・鉱物資源への投資が増加し、117.54 億ドルに達した。

### Ⅲ 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：%，出所：DANE)	11/7	12/5	12/6	12/7
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	3.9	-0.2	2.8	1.5
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	4.8	0.1	2.4	0.6
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	11.8	0.9	4.0	1.3
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	179.0	196.1	192.1	189.1
(2) 失業率 (単位：%，出所：DANE)	11/8	12/6	12/7	12/8
(ア) 全国平均	10.1	10.0	10.9	9.7
(イ) 主要13都市平均	10.4	11.3	11.5	10.5
(3) 消費者物価上昇率 (単位：%，出所：DANE)	11/8	12/6	12/7	12/8
(ア) 前月比	-0.03	0.08	-0.02	0.04
(イ) 前年同月比	3.27	3.20	3.03	3.11
(4) 政策金利 (単位：%，出所：中央銀行)	11/9	12/7	12/8	12/9
	4.50	5.00	4.75	4.75
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ，出所：中央銀行)	11/9	12/7	12/8	12/9
(ア) 月初	1,780.26	1,784.60	1,790.74	1,825.21
(イ) 月末	1,915.10	1,789.02	1,830.50	1,800.52
(ウ) 最高値	1,780.26	1,797.33	1,833.14	1,825.21
(エ) 最安値	1,915.63	1,771.53	1,785.29	1,789.54
(6) 株式指数IGBC (単位：ポイント，出所：「コ」証券取引所)	11/9	12/7	12/8	12/9
(ア) 月初	13,470.37	13,703.17	13,673.38	14,099.05
(イ) 月末	12,915.80	13,768.45	14,088.52	14,056.60
(ウ) 最高値	13,884.17	13,889.44	14,303.24	14,495.57
(エ) 最安値	12,853.70	13,373.03	13,283.02	13,868.84
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	11/7	12/5	12/6	12/7
(ア) 輸出額 (FOB)	4,890.4	5,208.2	4,621.9	4,693.5
(イ) 同 年内累計	31,690.6	25,646.1	30,368.4	35,069.9
(ウ) 輸入額 (FOB)	4,345.0	5,188.0	4,812.8	4,907.6
(エ) 同 年内累計	28,943.0	22,618.9	27,431.7	32,339.4
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	11/7	12/5	12/6	12/7
	327.4	363.7	328.7	335.6
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省)	11/9	12/7	12/8	12/9
注：ボゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	8,535.54	8,708.03	8,708.03	8,834.22
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：FENALCO社)	11/8	12/6	12/7	12/8
(ア) 単月	28,500	26,749	26,105	25,662
(イ) 年内累計	216,516	160,831	186,936	212,598

(了)